

17: Q 使用中、半分に割れたり手でふれるとポロポロと粉になって削れるのはなぜですか？

A 掃じいらずは水分に反応して効果を発揮します。その効果を持続させるために、打錠の際に高圧で成型します。それだけでは均一な溶解が得られないため、溶解調整剤を配合してあります。しかし、使用状況によって温度差、流水圧、他成分等の反応などによって、成型がゆるむ場合があります。他社塩素系錠剤ですと本来使用する目的が違う為直ぐに溶けて消失してしまいますが、掃じいらずに配合されている溶解調整剤によって粉状になっても形が残るのです。化学反応による場合以外は、有効成分も残留していますので、そのままお使いください。

18: Q 値が高いのはなぜですか？

A 今まで説明をして参りましたが、他社のように一般的な薬剤の塩素系錠剤をリパックしたものでなく、その目的の為にスピライズドオキサイドや溶解調整剤や中性剤、他と独自の技術を駆使して作られているもので、成分が違います。他社の塩素系は工業用塩素剤を使用しているため安価ですし、製造されている生産量が全然違います。

19: Q アパート、マンション等の排水管に鉄製を使用している場合、サビが発生しませんか？

A 台所で使用されている塩素系漂白剤等と比較しても濃度も低く、通常の使用において問題となるほどの影響は無いと思いますが、構造、材質が一様で有りませんので用心が必要です、掃じいらずは弱アルカリ性〔PH 8～8.5〕でその上、中和剤の配合されていますので問題は無いと思います。
〔他社の塩素系は強酸性のPH 3で錆びる事は必至です〕

20: Q 塩素ガスの行方

A 掃じいらずから発生する塩素ガスは、極微量で気に留める量では有りません。一般的には塩〔NaCl〕等の安定物質に変化するものと考えて下さい。排水に対しても中性になるように成分が調整されています。